

【資料3】

学校適正配置のシミュレーション【原山中学校区】(案)

項目	内野小学校	原山小学校	原山中学校
①所在地	印西市内野1-1	印西市原山3-4	印西市原山1-2
②開校年	昭和59年	平成元年	平成2年
③普通教室保有数	総数25教室	総数24教室	総数21教室
④児童生徒数の推移	R4: 583名→R10: 635名 ※52名の増	R4: 250名→R10: 155名 ※95名の減	R4: 279名→R10: 440名 ※161名の増
⑤通常学級数の推移	R4: 19学級→R10: 21学級 ※2学級の増	R4: 11学級→R10: 7学級 ※4学級の減	R4: 8学級→R10: 14学級 ※6学級の増
⑥特別支援学級数の推移	R4: 6学級→R10: 6学級 ※増減なし	R4: 2学級→R10: 2学級 ※増減なし	R4: 3学級→R10: 3学級 ※増減なし
⑦学校規模の推移	R4: 適正規模→R10: 適正規模	R4: 準適正規模 →R10: 準適正規模	R4: 準適正規模→R10: 適正規模
⑧通学区域 ※遠距離通学者は、 R4.5.1 時点の在校生	・東西: 約1.5km ・南北: 約1.8km ・遠距離通学者: 直線約1.2km 道路約1.5km	・東西: 約1.4km ・南北: 約2.1km ・遠距離通学者: 直線約1.3km 道路約1.6km	・東西: 約1.8km ・南北: 約3.3km ・遠距離通学者: 直線約1.5km 道路約2.1km
⑨スクールバスの運行	なし	なし	なし
⑩学区外就学の状況(出) ※各年5月1日現在 ※学区の児童生徒数は 4月1日現在	R4: 3名/学区の児童数: 517名 (割合: 約0.6%) R3: 1名、R2: 2名 主な就学先: 原山小	R4: なし/学区の児童数: 227名 R3: 2名、R2: 3名 主な就学先: 内野小	R4: 6名/学区の生徒数: 302名 (割合: 約2.0%) R3: 4名、R2: 7名 主な就学先: 船穂中
⑪学区外就学の状況(入) ※R4.5.1 現在	75名 主な指定校: 小倉台小	24名 主な指定校: 大森小	21名 主な指定校: 木刈中

<児童生徒数・学級数の推移>

学校名	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
内野小学校	547	19	605	20	663	22	688	23	690	24	646	22	635	21
原山小学校	237	11	214	9	211	10	199	9	180	8	166	7	155	7
原山中学校	265	8	366	12	354	12	365	11	374	11	430	13	440	14

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

<原山中学校区における学校適正配置シミュレーション（案）の考察>

実施方策	学校適正配置の組み合わせ	学校規模	施設受入面	特記事項
①通学区の見直し				・通学区の見直しを行っても、原山小学校を適正規模化するの難しい。
②学校選択制の導入 (ブロック選択制)				・内野小学校の教室数が不足するおそれがあるため、ブロック選択制を導入するのは難しい。
③学校選択制の導入 (特認校制)	原山小学校における 小規模特認校制度の 導入			・令和5年度から実施する船穂小学校における小規模特認校制度の効果の検証が必要である。
④学校選択制の導入 (特定地域選択制)	内野小学校区から 原山小学校区への 通学区制度の弾力的な 運用の導入			・令和5年度から内野小学校区から原山小学校区への通学区制度の弾力的な運用を実施。
⑤学校の統合	内野小+原山小	大規模	内野小：× 原山小：×	・学校規模が大規模になってしまうため、この組み合わせによる学校の統合は難しい。
⑥学校の統合	内野小+原山小 +原山中 ⇒新 義務教育学校 (施設一体型)	・前期課程 →大規模	内野小：× 原山小：× 原山中：×	・前期課程が大規模になってしまう。 ・学校施設の増改築等の対応が必要となる。
⑦学校の統合	内野小+原山小 +原山中 ⇒新 義務教育学校 (施設分離型)	・後期課程 →適正規模		

※施設受入面：○…受入学校の教室総数≧学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

×…受入学校の教室総数<学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

【参考】児童生徒数・学級数の推移（学校の統合後）

学校名	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
新 義務教育 学校(前期課程)	819	25	874	27	887	28	870	28	812	27	790	26
新 義務教育 学校(後期課程)	366	12	354	12	365	11	374	11	430	13	440	14
新 義務教育 学校(全体)	1,185	37	1,228	39	1,252	39	1,244	39	1,242	40	1,230	40

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

※R10 特別支援学級数：前期課程 7 学級・後期課程 3 学級